

R7「よくわかる二小・二中的一貫教育のPOINT」

1 ねらい

◎「小中で一貫した教育」を実施することで

『めざす15歳の姿』を実現すること

- ▶小中の教員、保護者、地域が「目指す子ども像」の実現の為に、同じ思いで子どもたちの成長を支えます。

2 手立て

◎9年間を通じた教育課程を編成し、

系統的な義務教育を実施すること

→教育課程とは学校の教育目標を達成するため、生徒や地域の実態に応じて、授業時数等と関連付けて、教育内容を総合的に組織した学校の教育計画のことです。

<具体的な取組>

①教科系統表と重点指導ポイントの整理による9年間を見通した教科指導をします。

- ▶二小・二中の教育課程はつながっています。何年生でどんな内容を教えているか、小学校はどの部分に課題があり、中学校でどの部分を補完するかなどを見通して教科指導しています。

②「よくわかる二小・二中」「二小・二中家庭学習のすすめ」を作成・配付による一貫した指導を目指しています。

③生徒指導部・特別支援 Co を中心とした児童生徒情報交流を定期的に行います。

④児童会・生徒会のつながりによる次世代のリーダーを育成します。

⑤中学校体験（施設、授業や部活動）等による中一ギャップの緩和を目指します。

- ▶1回目（2時間：校舎見学、授業参観）・2回目（午前：中学教諭の授業）・3回目（1日：中学教諭の授業、小中合同授業）▶部活動体験は夏休みに開催します。

⑥合同行事（小中合同地域清掃、小中挨拶運動など）による相乗的な指導を行います。

⑦小中全教職員による研修会などを行います。（小中ブロック研修・小中合同教科部会など）

各教科の共通課題と具体目標

国語	社会	算数	理科	音楽	図工・美術	家庭	体育	特別活動
国語	国語	算数	理科	音楽	図工・美術	家庭	体育	特別活動
国語	国語	算数	理科	音楽	図工・美術	家庭	体育	特別活動
国語	国語	算数	理科	音楽	図工・美術	家庭	体育	特別活動
国語	国語	算数	理科	音楽	図工・美術	家庭	体育	特別活動
国語	国語	算数	理科	音楽	図工・美術	家庭	体育	特別活動
国語	国語	算数	理科	音楽	図工・美術	家庭	体育	特別活動
国語	国語	算数	理科	音楽	図工・美術	家庭	体育	特別活動
国語	国語	算数	理科	音楽	図工・美術	家庭	体育	特別活動
国語	国語	算数	理科	音楽	図工・美術	家庭	体育	特別活動

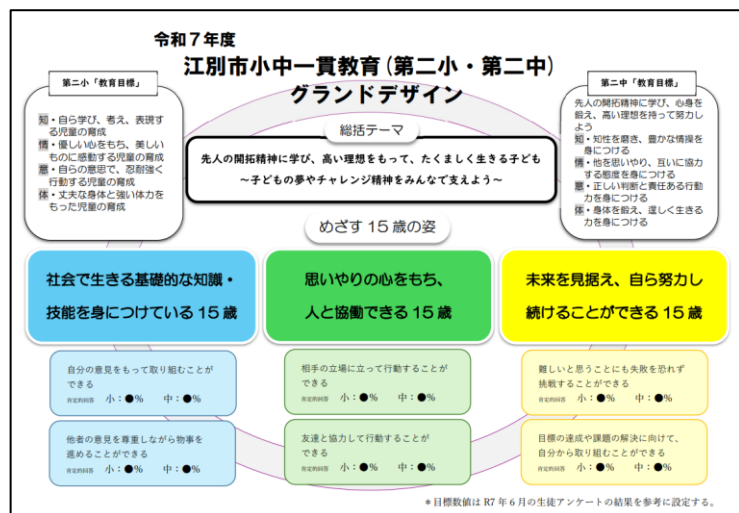
学級の中	ノート	学校に置いていく教科書	宿題・家庭学習	学力テスト・定期テスト
学級の中	ノート	学校に置いていく教科書	宿題・家庭学習	学力テスト・定期テスト
学級の中	ノート	学校に置いていく教科書	宿題・家庭学習	学力テスト・定期テスト
学級の中	ノート	学校に置いていく教科書	宿題・家庭学習	学力テスト・定期テスト
学級の中	ノート	学校に置いていく教科書	宿題・家庭学習	学力テスト・定期テスト
学級の中	ノート	学校に置いていく教科書	宿題・家庭学習	学力テスト・定期テスト
学級の中	ノート	学校に置いていく教科書	宿題・家庭学習	学力テスト・定期テスト
学級の中	ノート	学校に置いていく教科書	宿題・家庭学習	学力テスト・定期テスト
学級の中	ノート	学校に置いていく教科書	宿題・家庭学習	学力テスト・定期テスト
学級の中	ノート	学校に置いていく教科書	宿題・家庭学習	学力テスト・定期テスト



3 小中一貫教育グランドデザイン

◎ニ小・二中で『めざす15歳の姿』

- ・社会で生きる基礎的な知識・技能を身につけている15歳
- ・思いやりの心もち、人と協働できる15歳
- ・未来を見据え、自ら努力し続けることができる15歳



▶小学1年生から、この姿を目指して、小学校から中学校の9年間を通して子どもたちを育てていきます。

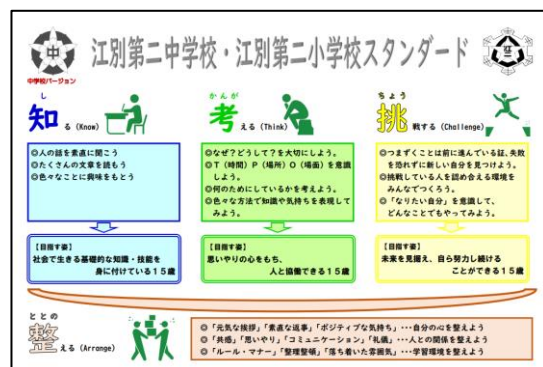


4 ニ小・二中スタンダード

◎『めざす15歳の姿』実現のための学習や生活における基本的な姿勢

学習し生活する基本的な姿勢として「知る」「考える」「挑戦する」の3つと、全ての土台として「整える」を示し、わかりやすい形で児童生徒の一貫した努力目標を提示しています。

※「よくわかるニ小・二中」「一貫教育グランドデザイン」「スタンダード」は各学校 HP に掲載しています。



5 地域・保護者の皆様へ

R5年度から市内の全中学校区で実施となった小中一貫教育ですが、第二中学校区(第二小、第二中)では、令和4年度から取り組み始め、今年で4年目となりました。これまでの成果を整理し、一貫性・連続性のある教育活動を充実させることで、子どもの継続した成長を支え、「目指す15歳の姿」の実現に向けた取組を進めています。江別第二小・第二中の一貫教育は、「施設一体型」ではなく、「施設隣接型」となります。校舎などハード面の変更はないのですが、私たち教職員の意識改革や連携から始まり、子どもたちのつながり、ご家庭や地域とのつながりを強める中で、学習習慣や生活規律の定着、中一ギャップの緩和などに成果が表れています。

毎年、改善しながらより良いものにしていきたいと考えておりますので、ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

(担当) 二小：戸根谷 二中：風間